ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日　※11 月 29 日(日)は機器点検のため投映はありません。

通常投映時間・内容(10 月～12 月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
ほしふるよるに プラネタリウム　ちびまる子ちゃん 星にねがいを ほしのおはなし(星空解説)	太陽系の惑星 プラネタリウム　ちびまる子ちゃん 星にねがいを 星空解説	4D2U 地球と月の誕生 かぐやとKAGUYA ～月が地球にくれた贈り物～ 星空解説 ※11/3(火)「星空ステージ」、11/7(土)「星空音楽館」は別内容となります。

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

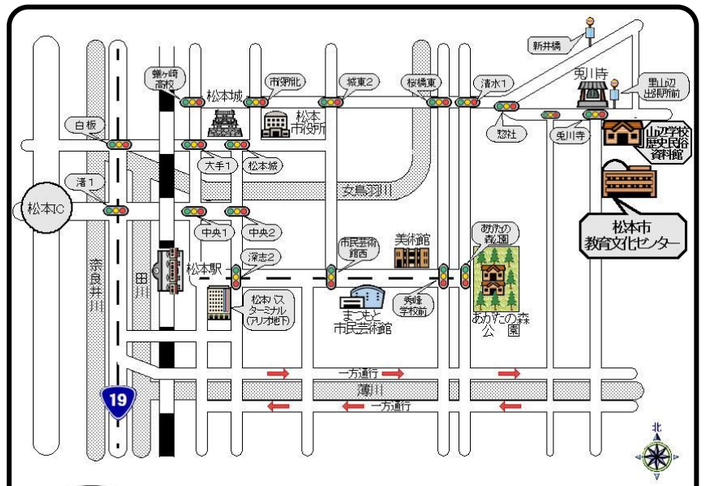
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

〈バス〉　松本バスターミナル３番のりば（アリオ１階ホーム）より乗車
①入山辺線　里山辺出張所前より下車　徒歩１分
②美ヶ原温泉線　新井橋より下車　徒歩 15 分

〈車〉　長野自動車道松本ＩＣより約 20 分　駐車場 60 台（無料）

☆☆ **星空音楽館企画委員募集** ☆☆

当センターで行われる「星空音楽館」の企画委員を募集しています。
企画の参加、プラネタリウムで流す音源の選定、当日の受付などを行います。
興味のある方は是非ご連絡ください。

松本市教育文化センター

〒390-0221　松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600　FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

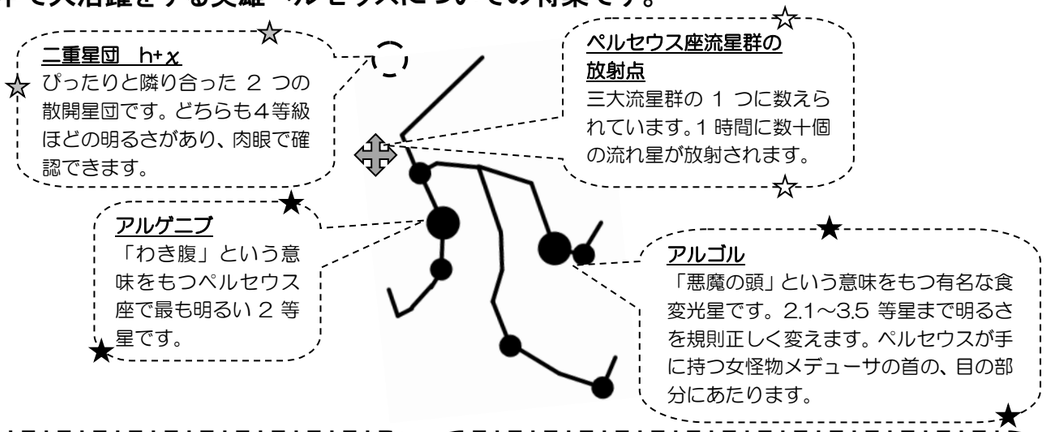
教育文化センター　プラネタリウム通信

ほしみる

No.29　2015.11.1

秋の夜空の英雄・ペルセウス座

秋の有名な星座を順にたどっていくと、1つの大きな物語を描くことができます。今回は物語中で大活躍をする英雄ペルセウスについての特集です。



ペルセウスってどんな人？

ギリシャ神話に登場する、神々の王ゼウスと人間の王女ダナエとの間に生まれた英雄です。赤ん坊のころ、祖父により母とともに海に流されましたが、たどり着いた島で助けられ、立派な青年に成長しました。

ある時、彼を快く思わない者により、毒蛇の髪の毛を持ち、見るものを石化させてしまう恐ろしい女怪物メデューサを退治するように仕向けられますが、神々より授かった魔法の武具を駆使し、無事にメデューサを退治することに成功しました。

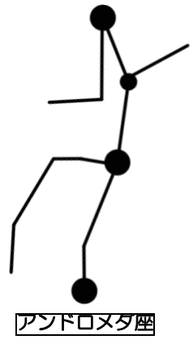
その後もいくつかの困難を乗り越え、死後は星座として空に上げられたと言われています。

ペルセウスとアンドロメダ

ペルセウスがメデューサを退治した帰り道、エチオピアの海岸から叫び声が聞こえてきました。ペルセウスが天馬ペガサスに乗って駆け付けると、王女アンドロメダが海獣ティアマトに生贄として捧げられ、今にも食べられようとしているところでした。

ペルセウスはメデューサの首を海獣につきつけて石化させ、アンドロメダを無事助け出すことに成功しました。

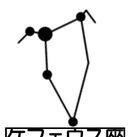
２人は恋に落ち、幸せな家庭を築きました。多くの子どもに恵まれ、子孫には夏の星座となった英雄ヘラクレスがいます。



ペルセウス座と関係の深い星座

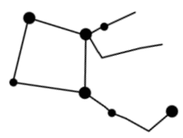
ケフェウス座
カシオペア座

アンドロメダの両親である古代エチオピア王国のケフェウス王とカシオペア王妃です。カシオペアの自慢話が災いして海獣ティアマトを差し向けられました。



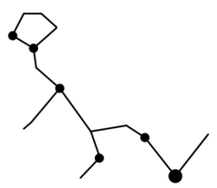
ペガスス座

ペルセウスがメデューサの首を切り落としたときに流れ出た血から生まれたとされる翼の生えた天馬です。



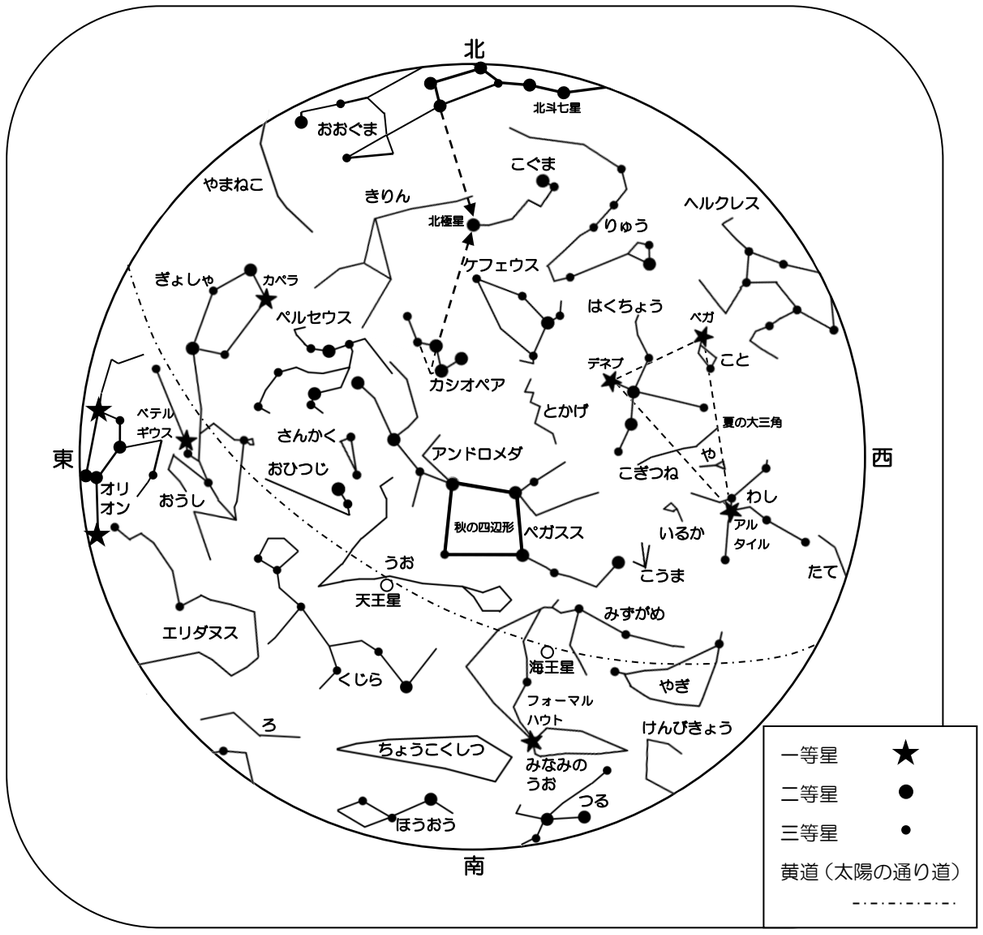
くじら座

海神ポセイドンのしもべである恐ろしい海獣ティアマトです。ポセイドンの怒りによってエチオピアに災害をもたらしました。



季節の星空

11 月 15 日 20 時頃の松本の星空



11 月の主な天文情報

- 3(火)　金星と火星が大接近
- 6(金)　おうし座南流星群が極大のころ(出現期間 10/15～11/30)
- 7(土)　月と木星が接近、火星が並ぶ
- 8(日)　月と金星が接近、火星が並ぶ
- 12(木)　新月
- 13(金)　おうし座北流星群が極大のころ(出現期間 10/15～11/30)
- 18(水)　しし座流星群が極大(出現期間 11/5～11/25)
- 26(木)　満月、アルデバラン(おうし座の 1 等星)が食(星食)

☆ 極大(きょくだい)→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

☆ 食(しょく)→ある天体が他の天体に隠されたり、影に入り込む現象。月が前面にくることで恒星や惑星が隠されることを星食といいます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

11/3(火)　**☆星空ステージ** 15:00～

長野県「語り・おはなし・朗読」の会連盟のみなさんによる朗読を、プラネタリウムの星空の下でお楽しみいただきます。
申し込み不要。当日先着 90 人。

11/7(土)　**☆星空音楽館** 15:00～

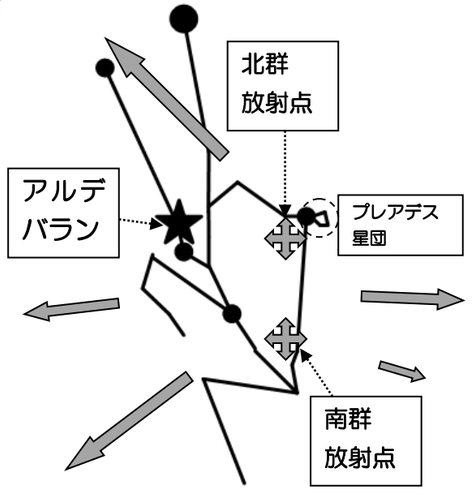
プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。
今回は主にアニメソングを中心とした曲をお楽しみいただきます。
申し込み不要。当日先着 90 人。

11/14(土)　**☆星空散歩・星の観望会** 18:30～20:00

天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。
(天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧いただきます。)
受付開始:11/7(土) 8:30 より
定員:40 人(小学生以上。高校 3 年生以下は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

おうし座の見どころ



東の夜空に姿を現し始めたおうし座ですが、11 月はその周辺でいくつかの天文現象があります。

まず、先月からゆるやかに活動を行っていたおうし座流星群が、今月に極大を迎えます。おうし座流星群は南と北に放射点が分かれ、南群と北群と呼ばれます。それぞれの極大は 6 日、13 日と予想されていますが、はっきりとしません。

有名なしし座流星群と比べ、極大のころの出現数は 1 時間に 5 個程度と少ないものの、「火球」と呼ばれる明るい流星を目にすることが多いのが特徴です。放射点が高くなる午後 9 時以降には観測しやすくなります。また、月明かりも少なく、特に北群は新月の翌日となるので観測条件は良好です。

続いて、26 日にはおうし座の右目にある 1 等星アルデバランが、満月によって隠される「アルデバラン食」が起こります。アルデバランの満月への潜入は関東以北でないと見られませんが、月からの出現はほぼ日本中で見られます。ただし、潜入も出現も夕方頃東の空低い位置で行われるため、観測をするには東の空が開けた場所で望遠鏡や双眼鏡を用いる必要があります。